



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 エスアールジータカミヤ株式会社  
 コード番号 2445 URL <http://www.srg.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 高宮 一雅

(氏名) 芦田 道夫

TEL 06-6375-3900

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,257	18.4	1,073	44.1	1,009	34.4	534	8.9
24年3月期第3四半期	17,105	38.9	745	50.8	750	107.0	490	243.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 458百万円 (0.2%) 24年3月期第3四半期 457百万円 (478.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	49.89	48.92
24年3月期第3四半期	45.33	45.10

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	34,137	6,666	19.0	606.71
24年3月期	32,472	6,380	19.3	585.08

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,503百万円 24年3月期 6,271百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,600	10.3	1,570	51.3	1,300	20.3	700	△7.3	65.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	11,156,000 株	24年3月期	11,156,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	437,487 株	24年3月期	437,360 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	10,718,545 株	24年3月期3Q	10,830,576 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要に下支えされ、国内需要は堅調に推移するなど、緩やかな回復基調にあったものの、欧州における財政不安の長期化、海外経済の停滞など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

この様な状況の中、当社グループは、震災復興需要や社会インフラの維持補修工事に対応できる機材を取り揃え、特に現場施工の安全性や効率化を図れる商品に重点を置いて、保有機材の確保や供給に努めてまいりました。また、ホリー㈱が製造する仮設機材や太陽電池設置架台の受注販売が大きく伸びました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が20,257,340千円（前年同四半期比18.4%増）、営業利益が1,073,381千円（前年同四半期比44.1%増）、経常利益が1,009,009千円（前年同四半期比34.4%増）となり、四半期純利益が534,753千円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメント情報の区分を見直し、従来の単一セグメントから「レンタル事業」、「販売事業」に変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ① レンタル事業

建設関連におきましては、大型橋梁現場の工事完了に伴い、レンタル機材の返納があったこと等によりこの工事に係るレンタル売上が減少いたしました。一方、新型機材入替による機材の減価償却費負担や機材の返納に伴う整備費等の増加により、利益を押し下げる要因となりました。

環境関連におきましては、ビルやマンション等の改修工事が増えたため機材出荷が増加しました。また、維持補修のため全国レベルで発生している点検及び改修工事が増加するなど、レンタル機材の稼働は順調に推移いたしました。

その結果、売上高は12,099,357千円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益718,469千円（前年同四半期比16.1%減）となりました。

#### ② 販売事業

建設関連におきましては、震災復旧・復興工事はもとより補修工事・改修工事の需要の高まりにより、足場部材のクランプ及びクサビ式住宅用足場の需要が、引続き堅調に推移いたしました。大都市圏や東北地区の旺盛な需要に対応した生産体制の強化を図り、製品供給の維持に努めてまいりました。

環境関連におきましては、引続き大手住宅メーカーと共同開発した「住宅用制振装置」の住宅への搭載率が高まったことにより、安定した受注を確保いたしました。また、モジュールメーカーやシステムインテグレーターに対して、産業用から住宅用までの多種多様な太陽電池設置架台の販売が大きく増加し、その旺盛な需要に対する生産体制の強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は9,231,290千円（前年同四半期比32.4%増）、営業利益1,099,979千円（前年同四半期比73.9%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、34,137,472千円となり、前連結会計年度末と比べ1,665,138千円増加いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加746,510千円、商品及び製品の増加123,251千円、仕掛品の増加179,690千円、原材料及び貯蔵品の増加166,925千円、建物及び構築物の増加446,610千円等によるものであります。

負債合計は、27,471,145千円となり、前連結会計年度末と比べ1,379,472千円増加いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1,005,240千円、短期借入金の増加244,884千円等によるものであります。

純資産合計は、6,666,327千円となり、前連結会計年度末と比べ285,665千円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加320,380千円、その他有価証券評価差額金の減少108,485千円、新株予約権の増加41,379千円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね当初の予想どおりに推移いたしました。従いまして、現時点において、平成24年5月11日発表の連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,541,380	3,438,380
受取手形及び売掛金	6,343,399	7,089,910
商品及び製品	1,363,369	1,486,621
仕掛品	225,757	405,447
原材料及び貯蔵品	390,878	557,803
繰延税金資産	164,333	110,789
その他	329,929	625,244
貸倒引当金	△156,577	△168,551
流動資産合計	12,202,470	13,545,645
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	26,023,437	26,471,212
減価償却累計額	△14,218,139	△14,855,197
貸貸資産(純額)	11,805,298	11,616,015
建物及び構築物		
建物及び構築物	3,317,060	3,900,426
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,017,479	△2,154,236
建物及び構築物(純額)	1,299,580	1,746,190
機械装置及び運搬具		
機械装置及び運搬具	537,246	562,389
減価償却累計額	△403,043	△375,217
機械装置及び運搬具(純額)	134,202	187,171
土地		
土地	3,881,812	3,891,954
リース資産		
リース資産	836,012	843,092
減価償却累計額	△364,710	△408,036
リース資産(純額)	471,301	435,056
建設仮勘定		
建設仮勘定	123,985	90,801
その他		
その他	463,320	482,123
減価償却累計額	△309,873	△339,663
その他(純額)	153,446	142,459
有形固定資産合計	17,869,628	18,109,649
無形固定資産		
借地権		
借地権	392,472	392,472
のれん		
のれん	136,474	108,891
リース資産		
リース資産	44,788	109,172
その他		
その他	285,973	248,333
無形固定資産合計	859,709	858,870
投資その他の資産		
投資有価証券		
投資有価証券	723,042	671,307
差入保証金		
差入保証金	340,730	332,480
会員権		
会員権	66,879	66,879
繰延税金資産		
繰延税金資産	133,264	163,476
その他		
その他	484,343	634,842
貸倒引当金	△207,733	△245,677
投資その他の資産合計	1,540,525	1,623,307
固定資産合計	20,269,863	20,591,827
資産合計	32,472,333	34,137,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,946,975	4,952,215
短期借入金	417,376	662,260
1年内償還予定の社債	596,400	646,400
1年内返済予定の長期借入金	4,972,732	4,984,419
リース債務	146,601	167,145
未払法人税等	624,802	258,684
繰延税金負債	867	3,583
賞与引当金	147,219	68,064
役員賞与引当金	16,302	—
設備関係支払手形	151,780	373,999
その他	1,330,183	1,648,791
流動負債合計	12,351,241	13,765,563
固定負債		
社債	1,761,600	1,388,400
長期借入金	10,036,222	10,252,319
リース債務	362,484	405,551
繰延税金負債	96,761	56,754
退職給付引当金	489,505	523,574
役員退職慰労引当金	33,065	32,275
資産除去債務	12,442	12,670
その他	948,348	1,034,035
固定負債合計	13,740,430	13,705,581
負債合計	26,091,672	27,471,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	679,750	679,750
資本剰余金	717,750	717,750
利益剰余金	4,989,947	5,310,327
自己株式	△223,905	△223,984
株主資本合計	6,163,541	6,483,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,209	△8,276
繰延ヘッジ損益	△2,014	△15,408
為替換算調整勘定	9,523	42,846
その他の包括利益累計額合計	107,719	19,162
新株予約権	20,682	62,061
少数株主持分	88,718	101,259
純資産合計	6,380,661	6,666,327
負債純資産合計	32,472,333	34,137,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	17,105,706	20,257,340
売上原価	11,774,931	14,225,099
売上総利益	5,330,775	6,032,240
販売費及び一般管理費	4,585,635	4,958,859
営業利益	745,140	1,073,381
営業外収益		
受取利息	4,519	3,215
受取配当金	7,790	9,941
受取賃貸料	41,023	47,589
賃貸資産受入益	42,636	40,694
スクラップ売却収入	43,169	34,958
貸倒引当金戻入額	81,048	—
その他	232,781	109,090
営業外収益合計	452,968	245,490
営業外費用		
支払利息	199,789	194,553
支払手数料	35,155	40,144
社債発行費	25,048	—
持分法による投資損失	—	14,824
保険解約損	47,077	—
その他	140,387	60,339
営業外費用合計	447,458	309,861
経常利益	750,650	1,009,009
特別利益		
投資有価証券売却益	20,325	—
負ののれん発生益	177,205	—
特別利益合計	197,531	—
特別損失		
固定資産売却損	—	1,718
固定資産除却損	9,056	3,580
投資有価証券評価損	47,457	—
特別損失合計	56,513	5,298
税金等調整前四半期純利益	891,668	1,003,710
法人税、住民税及び事業税	507,500	466,245
法人税等調整額	△95,432	△9,825
法人税等合計	412,068	456,419
少数株主損益調整前四半期純利益	479,600	547,291
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△11,398	12,537
四半期純利益	490,999	534,753

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	479,600	547,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△545	△108,482
繰延ヘッジ損益	2,846	△13,393
為替換算調整勘定	△24,129	33,322
その他の包括利益合計	△21,828	△88,553
四半期包括利益	457,771	458,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	469,165	446,196
少数株主に係る四半期包括利益	△11,394	12,541

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

当社グループは、建設用仮設機材のレンタル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	レンタル事業	販売事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	11,817,055	8,440,285	20,257,340	—	20,257,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	282,302	791,004	1,073,307	△1,073,307	—
計	12,099,357	9,231,290	21,330,648	△1,073,307	20,257,340
セグメント利益	718,469	1,099,979	1,818,448	△745,067	1,073,381

(注) 1. セグメント利益の調整額△745,067千円には、セグメント間取引消去△77,244千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△667,822千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度末においては、建設用仮設機材のレンタル事業の単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間よりセグメント情報の区分を見直し、従来の単一セグメントから「レンタル事業」、「販売事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間における報告セグメントに基づき作成すると次のとおりになります。

(単位：千円)

	レンタル事業	販売事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	11,020,317	6,085,389	17,105,706	—	17,105,706
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89,441	888,683	978,125	△978,125	—
計	11,109,758	6,974,073	18,083,832	△978,125	17,105,706
セグメント利益	856,710	632,453	1,489,164	△744,024	745,140

(注) 1. セグメント利益の調整額△744,024千円には、セグメント間取引消去△118,595千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△625,429千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。